

厚生労働省モデル事業として 「赤ちゃんのスキンケア動画」を公開

乳児湿疹・アトピー性皮膚炎の早期ケアを、地域のスタンダードに。
地域全体で「適切なスキンケア」の普及を目指します。

R8年 5月 19日

報道機関 各位

熊本大学病院(院長:平井俊範)は、令和7年度厚生労働省「免疫アレルギー疾患に係る治療と仕事の両立支援モデル事業」の一環として、教育動画「赤ちゃんのスキンケア」を制作・公開しました。本動画は、「くまもとアレルギー相談室」ホームページや、熊本大学病院公式YouTubeチャンネルでご覧いただけます。

近年、乳児湿疹はアトピー性皮膚炎や食物アレルギーなどアレルギー疾患の発症リスクと深く関連することが明らかになり、乳児期早期から皮膚のバリア機能を守ることが重要視されています。しかし、現場では保護者や地域の医療・保健・保育関係者から「正しいケアの方法や受診のタイミングがわからない」といった悩みの声が多く寄せられていました。

今回公開した動画では、実際に生後2～3カ月の赤ちゃんにご出演いただき、部位別の洗い方や保湿剤の種類・塗り方、皮膚科や小児科を受診をする目安など、実演やイラストを交えてわかりやすく解説しました。動画の特徴は以下の通りです。



専門医監修の信頼性: 医学的根拠に基づき、自己流になりがちなケアを、家庭で安心してできる方法として解説しています。

助産師・看護師による実演: 石けんの泡立て方などスキンケアのコツを動画で具体的に再現。文章や写真では伝わりにくい動きが一目で分かります。

今日から家庭で取り入れられる: 毎日の入浴や保湿の時にすぐ使える内容で、湿疹の予防や治療中のケアに役立ちます。

熊本大学病院では、今後も医療・行政・地域が連携した取り組みを通じて、子どもたちと家族を支える地域医療体制の構築を進めてまいります。

動画はこちらからご覧ください

本件に関するお問い合わせ



熊本大学病院 皮膚科 担当: 柏田香代(講師)

電話: 096-373-5233

e-mail: nakamura.kayo@kuh.kumamoto-u.ac.jp